

介護のお仕事のホント!

もっと介護を知ろう!

介護の第一線で活躍されている
皆さんにインタビューしました。



ますざわ りょう
増澤 諒さん(理学療法士)
【諏訪市】リハビリデイサービスいずみ

プライベートは?

土日は、大学院で運動による筋肉の遺伝子の変化や衰えない体質をどう作るのか、研究しています。

また、諏訪市内のスポーツジムの運営にも携わっています。将来的には、研究内容を生かし、地域の健康づくりに貢献したいと思っています。



介護の仕事についたきっかけは?

大学を卒業後、理学療法士の資格を取得し、千葉の総合病院で2年半勤務した後、ワーキングホリデーでオーストラリアに渡航し、現地の医療制度やリハビリの技術などを学びました。

地元の諏訪へ戻り、経験を生かした仕事がしたいと思っていたところ、今の仕事と出会いました。

やりがいや魅力はなんですか?

小人数のデイサービスなので、1人の利用者さんに対し深く関わることができるのが魅力です。総合病院時代と比べると、より地域に根ざしたケアができていると感じています。



メッセージをお願いします

仕事を「楽しむ」ということを忘れないでください。良い仕事をするためには、自分なりに工夫して楽しむことが大切だと思います。楽しんで取り組んでいる姿は、利用者さんや一緒に働いているみんなに活力を与えるはずです。



いとう あゆみ
伊藤 文美さん(介護福祉士)
【岡谷市】愛の家グループホーム岡谷幸町

職場の雰囲気は?

きっかけでもありませんが、皆さん明るく気持ちのいい挨拶で朝から迎えてくれ、逆に元気がない時には皆が気にかけてくれます。

そんな思いやりの精神を持って働くことのできる職場だからこそ、お互い気持ちよく仕事ができます。

介護の仕事のきっかけは?

以前にエステの仕事をしていた時、介護施設へのボランティアの話を聞き、自分も介護施設を訪れました。その時に利用者さんの笑顔を見て、「自分も介護の仕事で喜んでもらえたら」と介護の仕事を始めました。

今の職場を選んだのは、見学をした時に皆さんから気持ちのいい挨拶をしていただけたことが決め手です。

介護の仕事はどうですか?

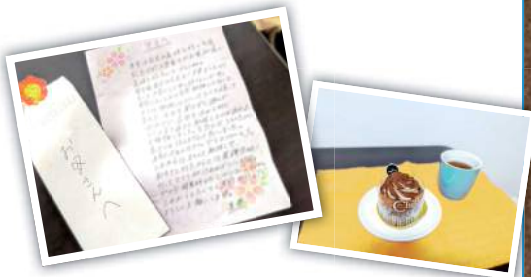
始める前は、未知の世界なので不安はありました。しかし、利用者さんの「ありがとう」の言葉や、できなかったことができるようになった瞬間を皆で分かち合えることに嬉しさとやりがいを感じます。



休日や家族との過ごし方は?

休日には、娘と一緒に料理を作ったり買い物に誘ったりして過ごすなど、家族との時間を大切にしています。

また、当時10歳の娘が小学校の2分の1成人式で書いた手紙に、将来の夢について「お母さんの働く姿を見て人と関わる仕事をしたいと思ったから」とあったことがとても嬉しくて、今でも大切な宝物です。





きたはら たくや
北原 拓弥さん
(福祉用具プランナー)
【下諏訪町】介護センター花岡
(福祉用具販売・貸与)

信頼を積み重ねた先に

お元気です

介護の仕事のきっかけは？

就職活動をしていたとき、祖母が足を悪くし歩行器が必要になり、そこで初めて福祉用具がレンタルできることを知り、興味を持ちました。その事がきっかけで、数多の業界の中から介護の世界に飛び込むことを決めました。

職場の雰囲気は？

仕事の分担が明確になっているため、横のつながりを大切にしています。だからこそ、他部門の方ともより密に交流でき、職場の皆でご飯を食べに行ったりなど、職員同士、仲の良い職場です。



プライベートは？

趣味のバドミントンを高校から10年以上続けていて、大会で優勝したこともあります。



バドミントンでアキレス腱を切ってしまったときに松葉杖を使ったことで、福祉用具を使う利用者さんの気持ちがより分かるようになりました。

働いてみてどうですか？

ときには、利用者さんとの関わりが難しいこともあります。年齢が離れている利用者さんに、「お前に何が分かる」と言われることもありましたが、

しかし、関わることを諦めず、少しずつ利用者さんとの信頼を築くことで、「布団じゃなきゃダメだ」と言う利用者さんに「お前さんが言うなら」と介護ベッドが必要な理由を受け入れてもらうことができました。

そういったことにうれしさややりがいを感じ、楽しく働いています。

新たに介護の仕事をはじめてみたい方へ

諏訪広域連合 介護保険課では、新たに介護の職場で働きたいと思っている方等を対象に、相談窓口を設けています。ぜひ、お気軽にご相談ください。



しのはら ゆうか
篠原 優花さん (介護福祉士)
【茅野市】桜ハウス宮川
(デイスサービス)

これまでも、これからも介護

介護の仕事のきっかけは？

祖父母と同居していて、小さい頃はよく祖母に面倒を見てもらっていたことや、進路で悩んでいるとき、高校の先生から福祉系への進学を勧められたことなどがきっかけで介護の道へ。

介護は大変っていうけど？

介護だけが特別ではなく、どの仕事でも大変なことってありますよね。

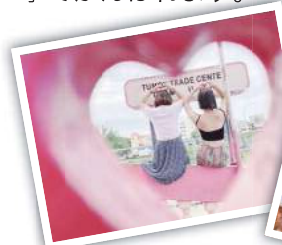
でも、人と人とのつながりやふれあい、介護の仕事でしか体験できないと思います。利用者さんから「ありがとう」って言われると元気100倍です。

今後の目標は？

これまでも、そしてこれからもずっと介護の第一線でガンバっていきます。

プライベートは？

休みは、家事や買い物、ドライブ。年に2回はディズニーに、海外もグアムに行きました。現実から離れることで気持ちをリフレッシュし、また仕事でがんばれます。



仕事と家庭の両立は？

仕事の時間がきっちり決まっているので、生活のサイクルがしやすいです。主人が率先して食事の洗い物や後片付けをしてくれて助かっています。

メッセージをお願いします

介護は、学校で教えてくれなかったことを、利用者さんや先輩、同僚から学ぶことができます。なくてはならない仕事です。



《介護のお仕事相談窓口》

諏訪広域連合 介護保険課 (茅野市役所 6階)
☎ 0266-82-8162 (直通)
🕒 平日 午前8時30分～午後5時15分

介護ひとくちメモ
諏訪広域で介護の仕事に携わる方の男女比率は男性2割：女性8割です。多くの女性が介護の職場で活躍しています。